

旭川市の自然にやさしい有機農業



①有機農業に力を入れる谷口農場

感想

有機農業には色々な知識がいるのだなと実感しました。

谷口農場のQ&A

Q 有機農業を始めたきっかけは？

A 農薬を使わない方がCO₂につながるから

Q 収穫するときのコツは？

A ビニールハウスの状態

Q 緑色のトマトは収穫しても良い？

A 緑色だとおいしくないのにかたいのでX

②美しい田んぼアート

感想

毎年違うアートが描かれているのだなと思いました。ちなみに今年は2024年パリオリンピック金メダリスト北口棒花選手でした。

田んぼアートのQ&A

Q 毎年アートは変わっている？

A ○

Q 始めたきっかけは？

A 新しい興味を持ってほしいから。

Q アートの中で難しい部分はどこ？

A 細かいところ



③米づくりに欠かせないトラクター乗車体験

感想

お米には色々なトラクターなどの機械が関わっているんだな～と思いました。

石坂ファームのQ&A

Q 農作業をおこなう機械の中で、今日はどんな機械がついている？

A 田んぼをたがやす機械



＼北海道旭川市の／

特派員おすすめスポット

旭川駅

電化と非電化の鉄道どちらも見ることができます。
大阪では見れない貴重な体験でした。



＼皆さんに伝えたいこと／

旭川市で有機農業が環境にも体にも良いことがわかりました。でもデメリットもあるということもわかりました。私たち泉大津市の小・中学生は旭川市の石坂フォームさんが作ってくれたお米を大切に食べることが大事だと思いました。

旭川の有機農業と自然環境との関係性に迫る！！



1日目

有機農業と本来の自然の生態系を学ぶ！

レアンファームで有機栽培で作られる2種類のハーブの収穫と、ハーブの特徴を活かした保湿鎮静クリーム作りに挑戦しました。

今回収穫したハーブは「コーンフラワー」と「エキナセア」です。

「コーンフラワー」は紫色の花でアントシアニンが豊富に入っていることから、フランスでは眼球に良いとされているハーブだそうです。

「エキナセア」はピンクの花で花の真ん中が少しチクチクします。僕はチクチクするのが怖くて恐る恐るお花を摘みましたが、生産者の石田さんはホイホイとっていたのですがプロの仕事でした！

石田さんからは有機農業とは、元々の生態系を取り戻した農業の方法だと学びました。農薬を使わないことで『虫がたくさん来る→虫を食べる動物が来る→動物が死んで土にかかる→土壤の養分になりまた花を咲かせる養分となる。』本来この循環により私達は生きているのだなど実感しました。

また農薬を使っていないので虫がたくさんいました。そんな環境で育った虫たちは攻撃してこないそうですが、僕は虫が苦手なので虫の気配がするたびにビビっていました。石田さんからは「大丈夫だよ～、虫くらいいるよ～」とずっと言われていました。笑

2日目

有機栽培のトマト・とうもろこしの収穫ともぎたてを食べてみた！

谷口農場に訪問し、農薬を使っていないトマト・とうもろこしを収穫しました。谷口農場では小閑さんがいろいろ教えてくれました。

トマトが今年は北海道でも暑かったせいで、本来の収穫時期より成長が早かったそうです。ここ10年で気温などの環境がガラッと変わったため、それに合わせて栽培方法も工夫しないといけないのが大変なことだそうです。

有機栽培のトマトは3月からハウスで育てています。受粉も蜂を使っているため自然な方法で育てられています。谷口農場のトマトは農薬を使ってないので収穫してそのまま食べれます。収穫してすぐトマトをハンカチで拭いて食べてみました。甘くてジューシーでめちゃくちゃおいしかったです。

次にとうもろこし畑に行きました。とうもろこし畑では収穫する前に畑に入ってすぐとうもろこしが食べられた後を見つめました。誰が食べたのか小閑さんに聞くと、野生のキツネやアライグマが食べた後だそうです。これもここ2~3年で被害が増えているので困っているそうです。とうもろこし畑では食べ頃のとうもろこしが見た目ではわかりにくいけど、食べ頃とその前の物を比べるかのように食べてみました。僕にはどちらも甘くて美味しいかったです。



3日目

給食で食べている有機米を調査！

7月の給食から食べていたという、石坂ファームを訪問！

石坂さんは有機栽培が広まっていない20年前から有機農業を始められました。人に健康で安心安全に食べられ、栄養もビタミン、ミネラルたっぷりで米本来の味わいを楽しむ事ができます。さらに自然環境にも土壤や水質汚染を防ぎ、生物の多様性を保つことが出来、普通の農業を使った米を作るよりもお金も手間もかかるけど、地球に住むみんなにとっていい方法だから始めたそうです。

有機米を作るには化学肥料や農薬を使わず、自然の力を最大限に活かすことに重点を置いています。なので、虫やカエルがたくさんいました。虫たちにとってもいい環境なんだなと実感しました。

この石坂ファームさんでは、なんと南出市長が来ました！！

南出市長は泉大津は農地も少なく他の地域と仲良くすることで、泉大津のみんなが子々孫々と受け継がれていくようにと提携先の市や農家さんに挨拶に回っているそうです。

市長は泉大津のみんなのために、畑と大地に感謝の祈りをしていました。

僕の知らないところで、泉大津の子供達が給食を食べて元気に育つよう市長や日本全国の有機農家の努力を知り、2学期からの給食がさらに楽しみになりました！

北海道旭川市の／

特派員おすすめスポット

旭川動物園が僕のおすすめスポットです！

なぜなら、動物を至近距離で観れるし、動物の本来の生き方を再現して展示していた。また、飼育員の方が案内してくれて、楽しかった。



皆さんに伝えたいこと／

いままでお米や野菜などを食べ物としておいしいな～と思いましたが、何も考えず食べていました。

今回体験を通して農家さんの苦労や有機農業でお米や野菜を作る大変さを知り、作り手の思いがわかる事で、お米や野菜を「感謝」して食べようという気持ちになりました。

作物がぐんぐん育つ旭川市



1日目 リアンファームさんでの軟膏作り

みんなで軟膏を作りました。①みつろうを入れる②シアバターを入れて溶かす③白っぽくなってクリーム状になるまでよく混ぜる④冷めてきたら、アロマを2滴くらい入れて混せて完成。
全部なくなったら自分でもつくりたいです。

2日目

谷口農場さんのトマト収穫体験

谷口農場さんは化学肥料や農薬を使わない野菜を栽培し、有機JAS認証を取得しています。

谷口農場さんでトマトととうもろこしの収穫をしました。私はあまりトマトは好きじゃなかったけど谷口農場さんのトマトはすごく甘くてとてもおいしかったです。



トラクターのタイヤと背比べをしました。

おおきい！

3日目

有機農業の石坂ファームさん

7月から泉大津市の学校給食のお米が石坂ファームさんの有機栽培で作ったお米が給食に出ています。

私は石坂ファームさんのお米を食べていたのはびっくりしたけど給食で食べている石坂ファームさんのところに行けて嬉しかったです。
石坂ファームさんにトラクターも乗せてもらってすごく高くて面白かったです。

／北海道旭川市の／

特派員おすすめスポット

田んぼアート
この紫 赤 オレンジ 黄 緑
白の6種類の色のイネを使って
絵を作成する。



／皆さんに伝えたいこと／

谷口農場さんのトマトやとうもろこしがとても甘くて美味しいのでぜひみなさんも旭川市に行ってみてください。

有機農業はすごいぞ!!



お花の乾燥室！

温度は30°C！暑い！



1日目

ハーブの力はすごい！



石田さんが育てているのは、いっさい農薬を使わないハーブです。黄色いカレンデュラはお肌にぬると良いです。私たちがつんだピンクの花のエキナセアという花は根っこまで使えます。インディアンの方はかぜ引きの時に使っていたそうです。

私は、とても広いハーブ畠のお花を機械を使わずに全て、手づみでやっている方法が1番すごいなと思いました。

2日目

両方ともとってもジューシー❤️



小関さんが育てているのは、有機農業のトマトと、とうもろこしです。とうもろこし畑はりんざくをしていて、とうもろこしの次は黒大豆を作るみたいです。とうもろこしは、キツネとアライグマに食べられてしまいます。それから、とうもろこしの葉がギザギザしているのは、自分の身を守るために、さわると痛いです。それたてのとうもろこしはとてもジューシーです。

トマトを作るのにハチを使っていて、マルハナバチというハチを使っているそうです。そしてトマトを食べたらとてもジューシーで美味しいかったです。



アライグマ・キツネ



3日目

3回も草取り？



石坂さん育てているのは、お米です。

京セラドーム約18個分の面積のお米を作っています。このうち約9個分の面積を有機栽培のお米を作っています。

トラクターを運転するのに「大型特殊免許」を取らないといけないそうです。トラクターのタイヤの高さが、私の身長より高いので驚きました。

田んぼの中にいるタニシは泉大津市はジャンボタニシで、イネを食べるけど、旭川市は小さなタニシでイネは食べないタニシです。イネが雑草に負けてしまうので、石坂さんは「除草機」といった機械に乗って3回草取りをします。3回も草取りをするのがすごいと思いました。



／北海道旭川市の／

特派員おすすめスポット

私がおすすめするのは、旭山動物園です。理由は、いろんな動物がとても近くで見れるからです。

それともう一つは、自動販売機の絵が可愛かり、ゆるゴリラの自動販売機がとても可愛いです。あと、マンホールの絵やタコの蛇口も可愛いので、ぜひ見てみてください★



／皆さんに伝えたいこと／

旭川市を散歩したら、ん!?と思う物があります。

なんと！それは……ぐねんと曲がった「電柱」です。それはその一列にしかなくてとても不思議で面白いのでぜひ探してみてください。

うんぶー
がくじて
で曲って
いる





リアンファームの農業

リアンファームでは有機農業でハーブをつくっている。有機農業は大変だけど安全なものをつくることができる。

谷口農場の農業

谷口農場は有機農業で野菜を育てている。動物にとうもろこしを食べられていてとても困っている。



田んぼアート

米を使ったアート、田んぼアートがつくられている。田んぼアートにはお米に興味を持ってほしい、と言う思いがある。

北海道旭川市の／

特派員おすすめスポット

田んぼアートがオススメスポットです。おこめでこんなアートをつくるなんてすごいと思ったからです。



皆さんに伝えたいこと／

皆さんが食べているお米は農家さんが汗水流してつくったお米だから無駄にせず、美味しい食べてほしい。

旭川市の農業を見てきました

1日目

リアンファーム

ハーブを有機栽培しているリアンファームに行きました。有機栽培はとても手間が掛かって大変ですが、それよりも環境や植物を守りたいという強い気持ちで始めたそうです。1番大変なことは草抜きで、広い畑全て手作業で抜いて驚きました。

ハーブの収穫やハーブを使った軟膏作りを体験しました。オリーブオイルやハーブなど天然の成分を使って作る軟膏は化粧品の代わりだけでなく、やけどなどの怪我などに使っても良いそうです。



2日目

田んぼアート

田んぼアートは全国約30団体が行なっています。JAたいせつさんでは、スーパーなどに置いている精米されたお米しか知らない人が多く、みんなに米作りについて関心を持って欲しいという思いで始めたそうです。地元の小学生も田植えを手伝っています。お米は、鑑賞用の稻も使われていて、田んぼアート発祥の青森県から種を2種類貢っています。旭川の田んぼアートに使われているお米は全部で6種類あります。観賞用の稻があることに驚きました。



3日目

石坂ファーム

20年以上前から有機でお米を作っている石坂さんの所に見学に行きました。

7月から僕たちが給食で食べるお米は石坂ファームで作られています。

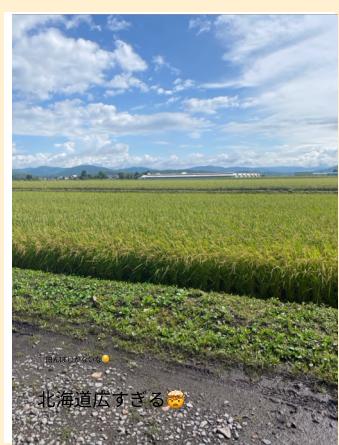
普通のお米は農薬と除草剤が必ず使われていて、使うと虫が死に、人間の体にも残ります。有機米は全く使わずに自然の力を活かして安心安全のお米だということが分かりました。

田んぼに雑草が生えているのを初めて見ました。苦労して作っていると言っていたので、大事に食べたいです。



＼北海道旭川市の／

特派員おすすめスポット



＼皆さんに伝えたいこと／

有機農業は農薬や除草剤、化成肥料を使わないので害虫や雑草の影響を受けやすくて、とても手間がかかります。

ですが、環境や体に優しい作物を届けたいという生産者さんの思いが込められています。

皆さんは有機農業についてどう思いますか？

旭川市と有機栽培①



田んぼアート

田んぼアートでは、6個の稻を使って今年は、やり投げの北口さんをえがいていました。ちなみに北口さんは、旭川市出身です。毎年田んぼアートでは約100～200人程度の小学生にも手伝ってもらっていてこの手伝いは毎年結構人気です。

谷口農場

谷口農場では、トマトの収穫ととうもろこしの収穫をしました。まず、トマトの収穫はふしの部分をつまんで取ると簡単に取れました。トマトは、受粉をするためにはちをかっているそうです。とうもろこしは、下の方にめがけて引っ張ると取れました。アライグマやきつねにかじられてしまっているものもありました。とうもろこしのヒゲとつぶの数は、同じだそうです。



石坂ファーム

石坂ファームでは、トラクター乗車体験をしました。トラクターはとても大きくて約大人2たり分くらいの高さがあって、タイヤも普通のタイヤの3倍くらいあってとても大きかったです。乗車をした時にはすこしゆれました。そして、トラクターの役割は耕すことです。そんなトラクターは、1台で家を買えるくらいの値段があります。



＼北海道旭川市の／

特派員おすすめスポット

旭山動物園

他の動物園よりも動物をとても近くで見ることができました。おすすめは、ペンギン館で透明のトンネルでまるでみずの中にいるみたいでした。



＼皆さんに伝えたいこと／

有機農業は、とても環境に優しくその分取れる量も少なくて、手間もかかります。そうやってできたお米などを大切に食べたいです。

旭川市と有機栽培②

リアンファーム

青紫色の花の名前は、コーンフラワーで約1日程度で花がさいて、フランスでは目にいいと言われています。収穫は、くきまでとれてしまったりして、意外とむずかしかったです。次に、ピンクの花の名前は、バレンギクで風邪によく効く花です。それらを乾燥させてオイルやラベンダーを入れてつまようじ2本でしっかり混ぜて軟膏を作ります。軟膏はやけどや日焼けによく効きます。



有機農業について

化学肥料や農薬を使用せず、自然の力を最大限に活かしていく、そうすることによって環境にやさしく、栄養がたっぷり取れていて、安全性が高いなどといったいいことがあります。次に、リアンファームで虫の役割について質問しました。すると、虫は虫を食べそれを食べる小動物もいます。そうやって生態系のバランスが取れています。



リアンファーム（1日目）

ハーブの収穫体験

- ・ハーブにはいろいろな種類や効能があることを知った。
- ・乾燥させて、ハーブティー、アロマオイル、化粧水などを作ったりもしている。



なんこう作り体験＆取材

- ・なんこうを作っているときもハーブの香りがしていいにおいだった。
- ・有機農業で一番大変なことは草取り。草に栄養をとられるから。

＼皆さんに伝えたいこと／

自然の大切さ

畑には、たくさんの虫がいてその虫を鳥が食べて、その鳥を動物が食べる。この環境のサイクルで有機農業ができる。

＼北海道旭川市の／

特派員おすすめスポット

自ら体験ができるので五感で感じることができるスポット



田んぼアート

(2日目)



イネの種類



田んぼアートをするきっかけ

お米がどんなふうに育つて、みんなの食卓に届くか知ってもらうため。

田んぼアートを見学しておもったこと



お米（イネ）はいろいろな種類があることを知りました。田んぼアートで使われているお米は6種類あり、色がきれいだった。

北海道旭川市の

特派員おすすめスポット

とっても大きい絵が細かくお米で描かれていて、感動！



田んぼアート作品の歩み



皆さんに伝えたいこと／

田植え作業は旭川市の小学生や中学生も参加して、食農教育をしている。全て手作業ですごいなと思いました。

谷口農業



谷口農業について

谷口農業では、有機農業で主に、トマトやとうもろこし、お米を作っている。

トマトしゅうかく体験

- ・トマトをしゅうかくさせてもらい、食べました。
- ・トマトはとてもあまくておいしかったです。



トウモロコシしゅうかく体験

- ・トウモロコシは、鳥獣害の被害がふえている。
- ・トウモロコシをとったあととのイネは肥料としてつかっている。

＼北海道旭川市の／

特派員おすすめスポット

とおっても広いトウモロコシ畠！
約2000本！



＼皆さんに伝えたいこと／

環境が変わってきてるので、作る物や作り方を変えていかなければならぬ事も教えてくれた。温暖化が作物にもいいきょうしている。

旭山動物園

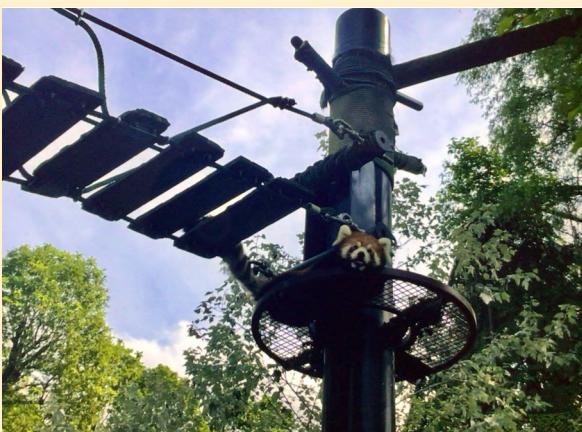
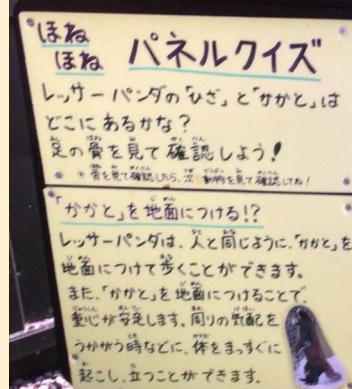


動物との距離が近い！

さいしょ旭山動物園に
来たとき、動物との距
離が近いのでビックリ
しました。

名前や説明などすべて手書き！

- クイズやその動物に
ついてくわしくかか
れていたので、工夫さ
れていて良かった。

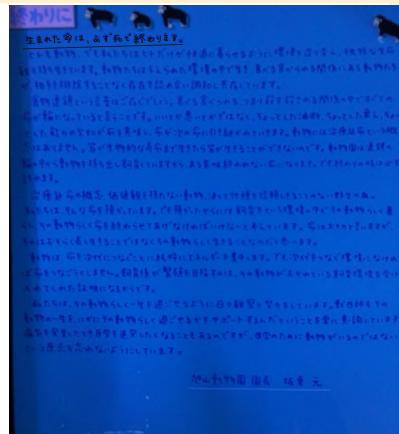


動物のくわしい説明や命に
についての展示がたくさんあ
るので、とても勉強になり
ました。

北海道旭川市の／

特派員おすすめスポット

動物の名前や説
明など、すべて
手書きで書かれ
ている！



皆さんに伝えたいこと／

命のお話が心にのこり
ました。

心にのこったところは
さいしょに書いてある
生きた命は必ず死で終
ると、書いていたとこ
ろです

石坂ファーム

石坂ファームについて

泉大津市の学校給食で食べているお米を育てている。

京セラドームの約18個分の面積のお米を作っている！

そのうち有機栽培は9個分！



感動！

私が給食で食べているお米を育ってくれる人に会って、話を聞いて田んぼを見て、とても感動しました。



田んぼで南出市長がカエルを見つけてくれた。有機栽培はカエルや虫にも優しい田んぼだと思った。

生産地と連けいして、「顔の見える関係性」はお互い安心するなと思った。

